

意識  
の  
監獄

R18



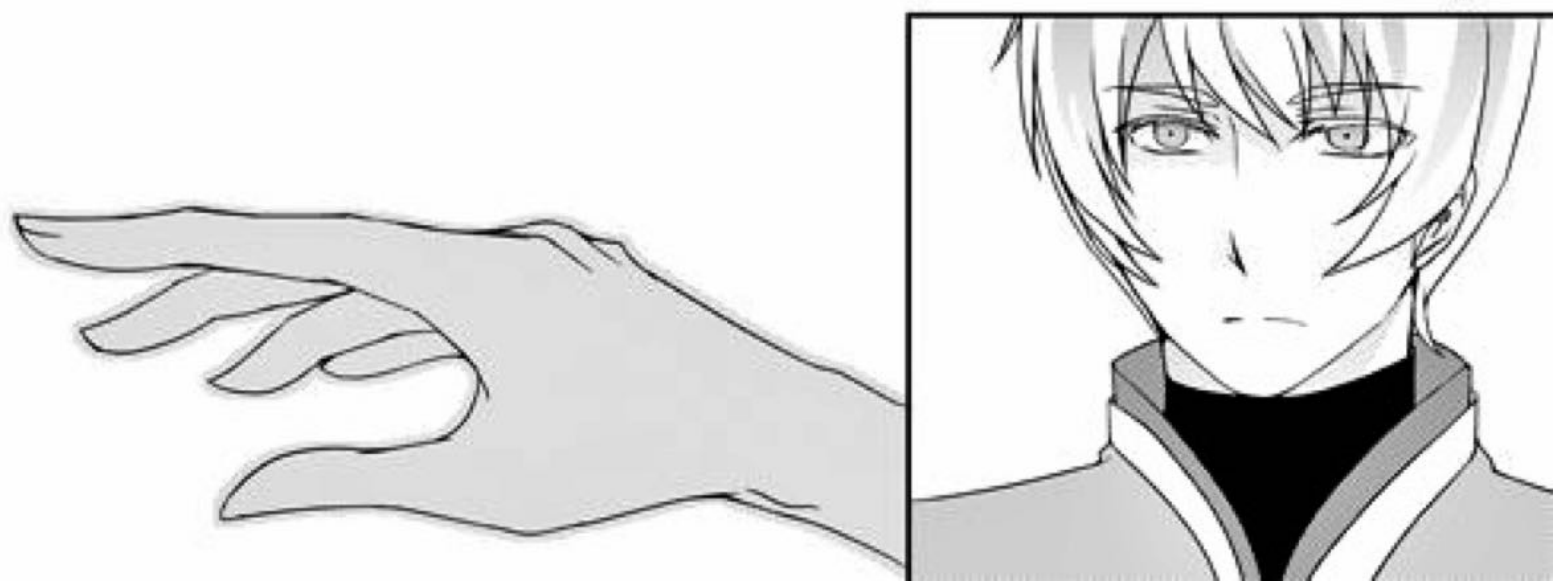


**-CAUTION-**

この本はフレッシュユーリの監禁陵辱本です  
その類が苦手な方はご遠慮願います

『人当たりの良い  
好青年』

『若くして  
騎士団長に登りつめた  
ヒーロー』





うわっ!

ビュッ

—そんな騎士団長閣下が女泣かせか?



お、驚かさなだけでくれユーリ

オレの接近にも気付かないのな

また 告られたーお断り ってヤツか?

……!?!?



実際エステルも心配してたぜ?

『フレンは大変な立ち位置にいるので安らげる女性が側にいたらいいのに』

って



だからお前

さっさと結婚すれば  
いいんじゃないね？

簡単に言うな



それよりニコに  
いるなんて、  
僕に何か用でもあるのかい？



結婚は考えてないよ



ふーん



・  
・  
・



エステルに  
だけどな

お前じゃなくて



仕事かい？



リタからの伝言を  
伝えにきたんだよ。  
もう終わったけどな



そう

しかもカロルたちは別の仕事  
中で  
オレ一人

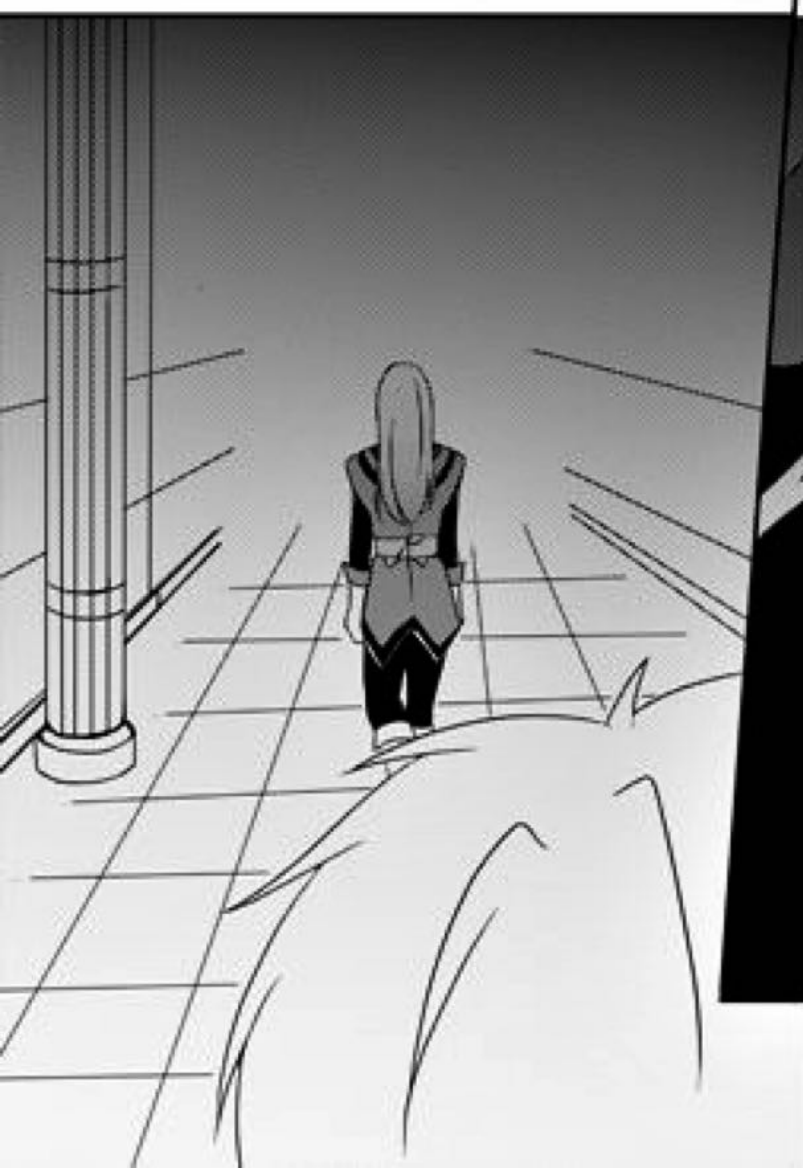
んじゃオレもう行くわ



気をつけてね

ああ

9



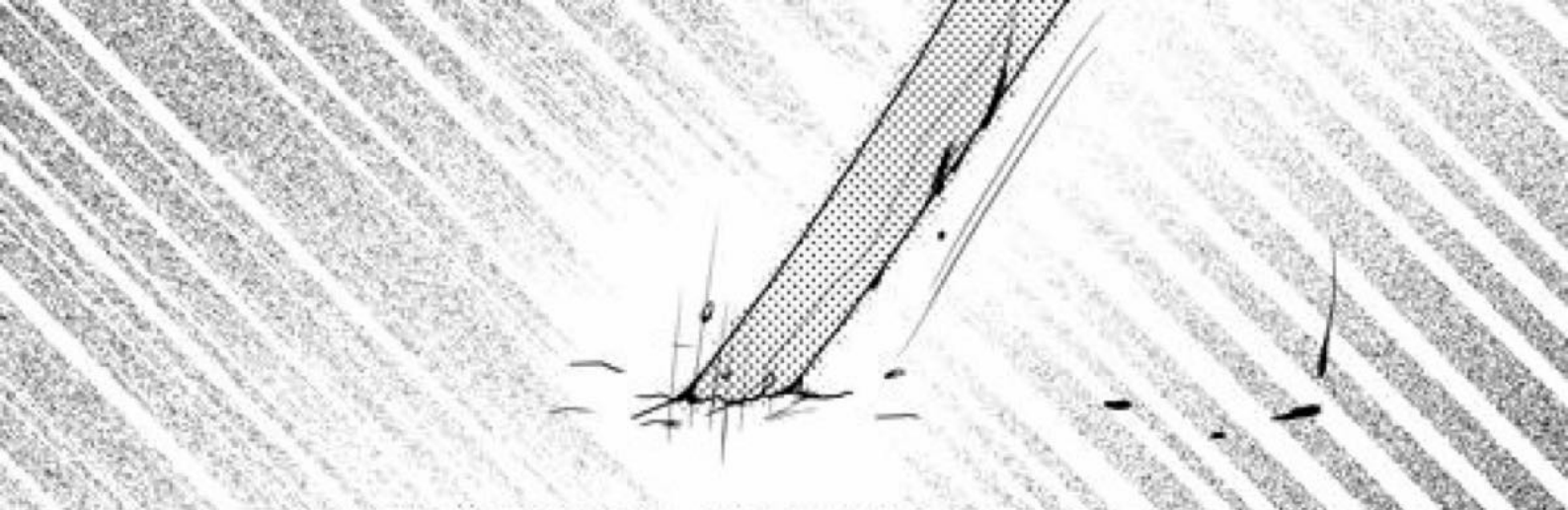
しばらくかかりつきりになると思っか  
終わったらまた顔出すわ



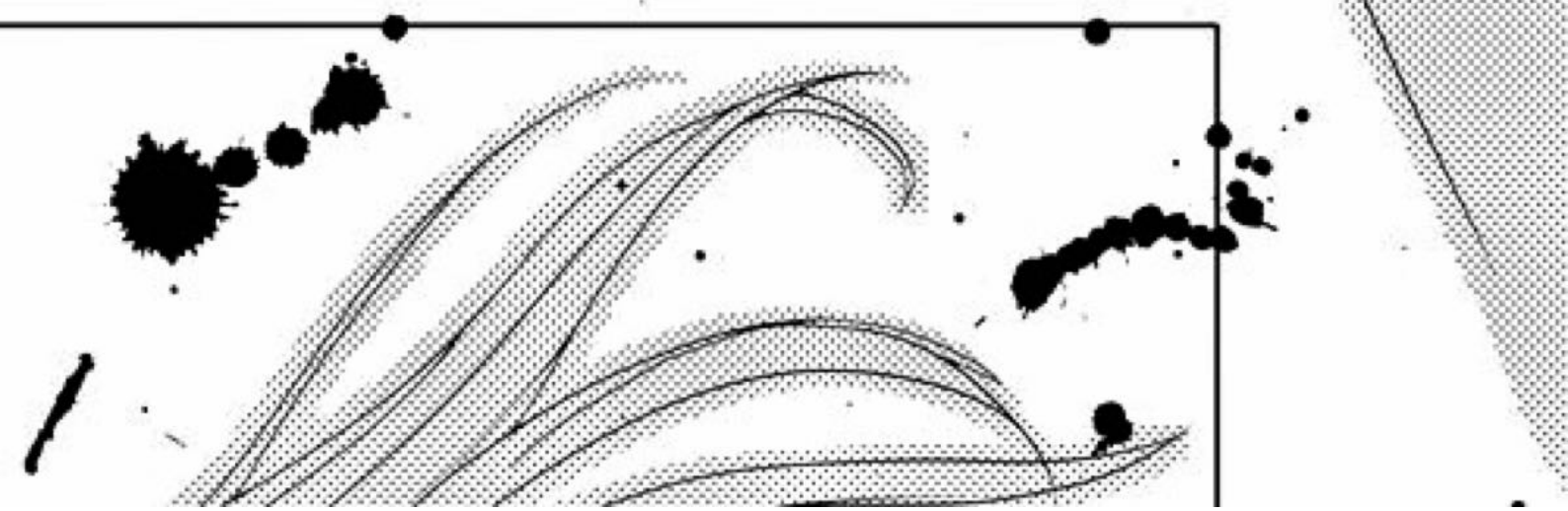


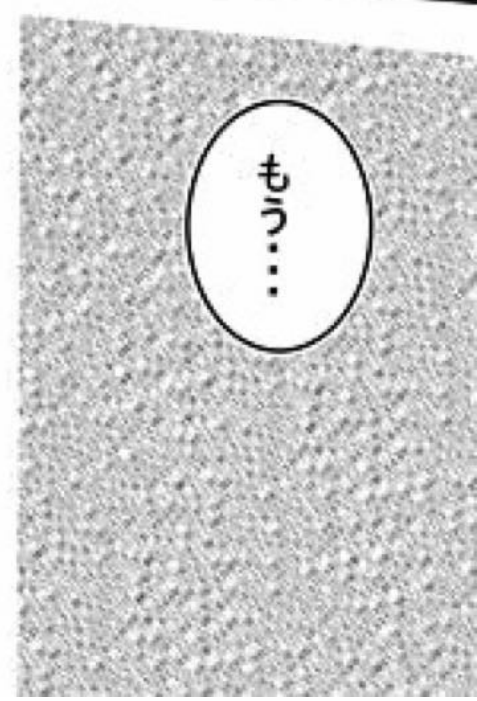






13







15



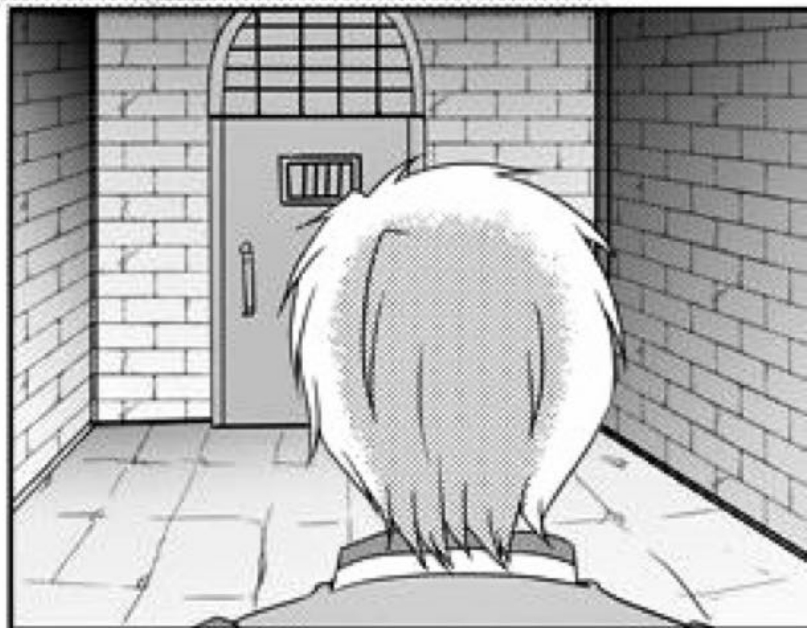
いっせ

キミは

どうして

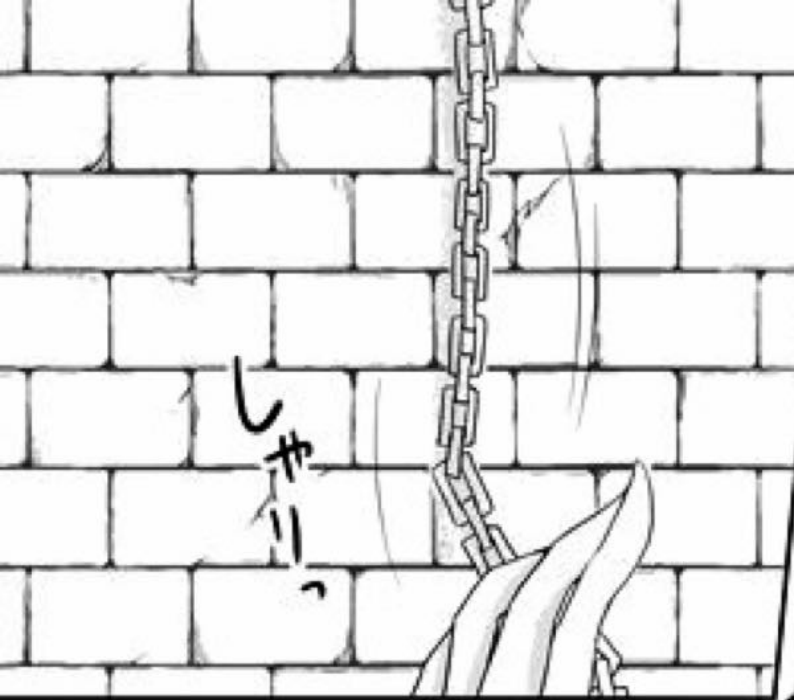
本当に







カ  
ツ  
ン



元気そうだね  
ユーリ



……どうしてですか？  
——アツシ





…キミが  
大怪我をして倒れていると  
連絡があった



エステリーゼ様のおかげで  
キミは助かったんだ

アレクセイが所持していた  
隠し部屋だよ

拷問用に使っていた  
みたいだね

……「」は？



ちぎっ…

お前まさか…



どうしてそんな格好を  
させたの強うっ



どうして僕が

こんな所にキミを  
閉じ込めたと思う？



『キレイ』なキミが  
僕の手で汚されるのを

見たいんだ



ふざけん…な  
フレン!!

ガッ



っ!

僕の気も知らないで

僕がキミにどんな  
思いを抱いていたか

知らないで



笑いながら  
結婚を勧めて

自らの危険を顧みず  
無茶をして…  
心配させて



うあっ

ぐっ



22









次は僕の番だ



口、開けて



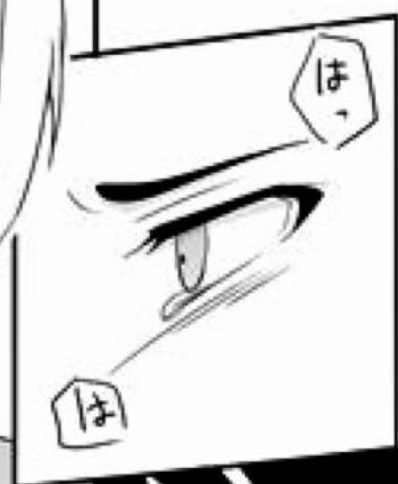
ん  
く  
っ



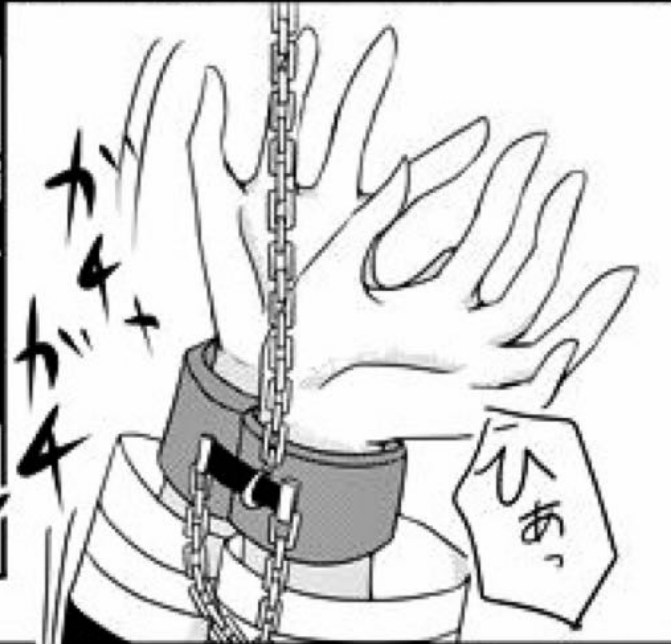
へ…  
ム。



そうだよユーリ  
丁寧な…









ずいといキミを  
ムンムン

抱いて犯して  
めっちゃくちゃして

僕だけのものに  
したかった









どろろ

たまる



う...う...

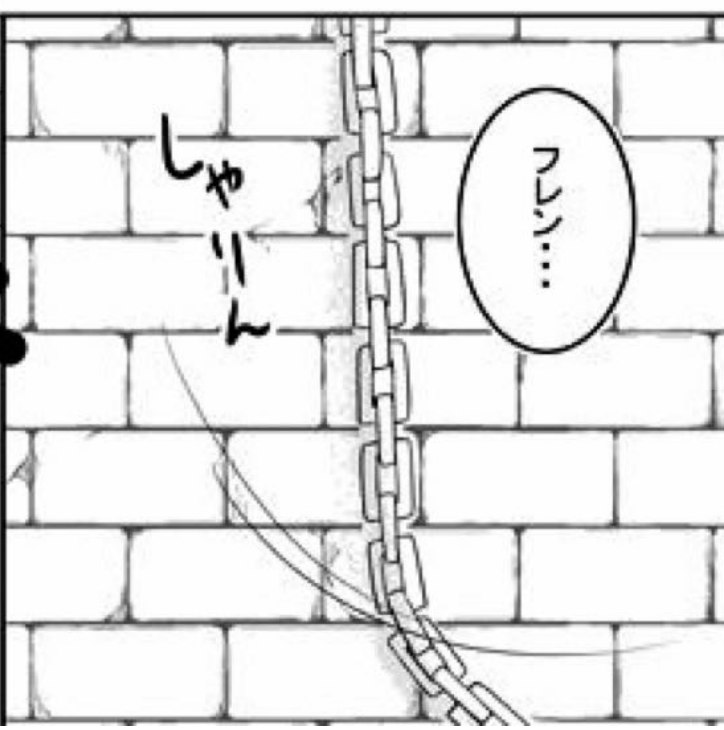


は...は...



これ...  
外してくれよ...

はあ



ん...ん...

ん...ん...





あああ

あああ

ぬちっ

ぬちっ

うあ

あ

は







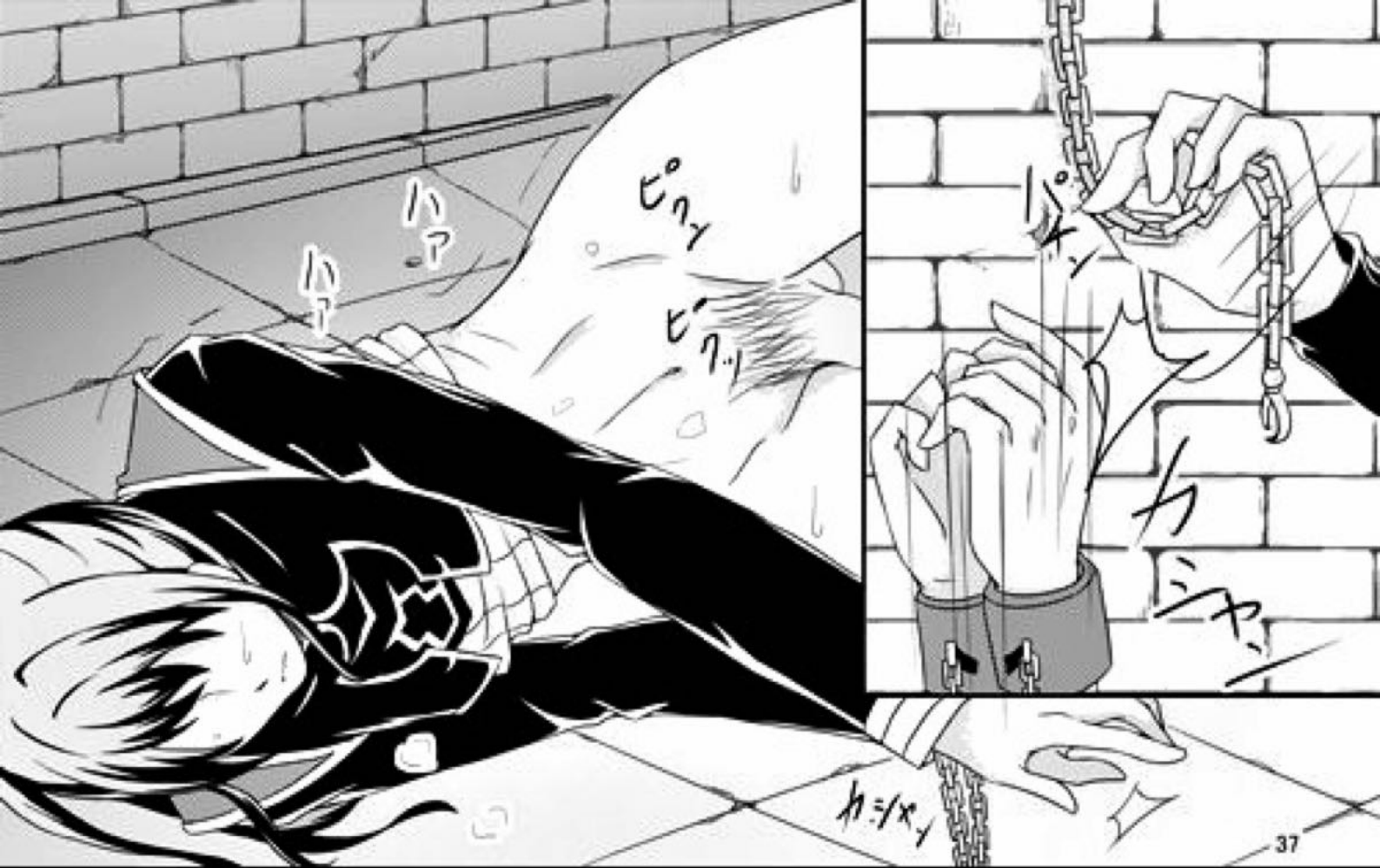
キミはせいじ  
僕だけのものだ



ふあふあ  
あひ



う……う……う……





38







キミは

永遠に

僕だけのものだよ



